



経済産業省 同時発表

平成 30 年 1 月 12 日
自動車局技術政策課

世界初^{※1}、高速道路における CACC^{※2} を用いた トラックの後続有人隊列走行実験を開始します ～移動革命の実現に向けた後続車有人によるトラック隊列走行実証実験～

国土交通省・経済産業省は「高度な自動走行システムの社会実装に向けた研究開発・実証事業」の一環として平成 30 年 1 月 23 日から、新東名高速道路浜松 SA から遠州森町 PA 間において CACC 技術を活用した後続車有人によるトラック隊列走行の実証実験を開始します。

国土交通省・経済産業省では、「未来投資戦略 2017（平成 29 年 6 月 9 日閣議決定）」に基づき、移動革命の実現にむけた主な取組の一つである高速道路でのトラック隊列走行を早ければ 2022 年に商業化することを目指し、2020 年に高速道路（新東名）での後続無人での隊列走行を実現するため、本年度中に CACC による後続有人隊列走行、来年度に後続無人システム（後続車にも緊急時対応用のドライバーは乗車）の公道実証を開始すべく準備を進めています。

昨年には、公道実証に向けた安全を確保する車間距離に関連した事項について検討し、具体的な走行場所や走行方法を確定した走行計画を整備してきました。

今般、これまでの検討を踏まえて、本事業の一環として 1 月 23 日から世界初となる国内メーカー 4 社が開発したトラックによる高速道路における後続有人隊列走行の実証実験を新東名高速道路にて開始することとしました。（詳細は別紙 1 参照）

※1 高速道路において、複数のトラック製造者が共同開発した CACC を用いた、異なるトラック製造者が製造したトラックによる後続有人隊列走行は世界初となります。

※2 CACC (Cooperative Adaptive Cruise Control) : 協調型車間距離維持支援システム
通信で先行車の制御情報を受信し、加減速を自動で行い、車間距離を一定に保つ機能のこと

<現地説明 概要>

日時 : 平成 30 年 1 月 23 日 (火) 11 時 00 分から
会場 : 新東名高速道路上り線浜松 SA 臨時駐車場
概要 : 実験概要説明、実験車両説明 等
取材 : 別紙 2 参照

【お問い合わせ先】

自動車局 技術政策課 笹本・久保
代表 : 03-5253-8111 (内線 42256、42216)
直通 : 03-5253-8591
FAX : 03-5253-1639